

四万十町人づくり戦略



平成 28 年 3 月

【四万十町人づくり委員会】

目 次

I 策定にあたって	
1. 策定の背景	1
2. 策定の趣旨	1
II 人財育成の基本的な考え方	
1. 基本理念	1
2. 目指す人財像	2
3. 戦略の位置づけ	2
4. 基本的な視点	2
視点1 地域に愛着と誇りを持つ	2
視点2 地域の活性化を目指す	2
視点3 住みやすい環境をつくる	2
視点4 教育や文化水準を高める	3
視点5 未来志向、世界に目を向ける	3
5. 推進体制	3
(1) 施策の実施体制等	3
(2) PDCAサイクル	3
III 基本目標と施策の方向	
基本目標1 ・わがまち四万十町の未来を元気にする人財の育成	4
基本目標2 ・わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成	4
基本目標3 ・わがまち四万十町の産業を元気にする人財の育成	5

四万十町人づくり戦略

I 策定にあたって

1. 策定の背景

日本の課題である人口減少問題は、本町においても特に少子高齢化が進展する予測であり、地域経済の縮小、日常を支える機能低下などあらゆる面で地域の活力を弱め、さらなる人口減少を加速化させることとなります。

また、人口減少が進行する中、社会経済環境の変化、福祉・医療制度の将来の不安、人のつながりの希薄化や価値観の多様化など、様々な問題は地域社会にも大きく波及し、従来の考え方や手法では解決できない課題が増えてきています。

一方、本町では特色ある自然と歴史・文化が多彩な四万十川流域の自然環境に基礎をおき、人とのつながりや心の豊かさを大切にし、人と自然が共生するまちづくりを目指しています。

また、山・川・海と多様な地理条件の中、農業をはじめとする第一次産業を基幹とし、地域特性を生かして多くの優れた人材が様々な分野で活躍しています。

このような状況の中、本町が目指す将来像「山・川・海 自然が 人が元気です 四万十町」の実現に向け、住民をはじめ町全体が一体となって問題意識を共有し、協働精神のもと持続可能な新たなまちの仕組みづくりに努め、人口減少克服と地方創生の推進が求められています。

2. 策定の趣旨

本町では、地域の持つ力や可能性を生かした「自律と共生のまちづくり」を進めていく上で、最も基本となるのは人の財（たから）、すなわち「人財」であり、人財の育成は未来のまちづくりの基盤と捉えています。

このためには、人財育成を最重点課題として捉え、中長期的な視点に立って、本町の地域力を結集した継続的な取り組みを進めていくことが大切です。

この人財育成の取り組みが、現在及び未来のまちづくりに最も的確で効果的な施策であり、地域の諸課題の解決を将来的にも可能にしていくと考えられます。

この戦略は、今後のまちづくりの最も基本となる人財の育成を町民総ぐるみで取り組んでいくため、人財育成の基本的な考え方を明らかにし、目指す人財像の実現に向けて重点的に推進する戦略を示すとともに、町や関係機関が各分野で取り組む際の基本的な指針となるものです。

II 人財育成の基本的な考え方

1. 基本理念

人財育成の基本理念として、「わがまち四万十町を愛し、わがまち四万十町の元気をつくる人財の育成」を基本とし、地域に愛着と誇りを持ち、自ら目標に向けて挑戦するチャレンジ精神あふれる人財の育成を進めていきます。

本町が目指す「自律と共生のまちづくり」を実現するためには、地域で自ら挑戦し、地域を元気にする人財が最も基本となり、このような人財を育成することが新しい可能性を拓き、本町の現在及び未来を支える基盤づくりとなるものです。

2. 目指す人財像

基本理念に掲げる「わがまち四万十町を愛し、わがまち四万十町の元気をつくる人財」の具体的な姿を、目指す人財像「地域の特性や可能性を知り、新たな価値を創造し、志をもって明るい未来の実現に向かって挑戦する人財」とします。

地域の資源や価値、可能性、課題など、地域の実態や実情を知り、自らの夢や志を実現するため、挑戦する意思をもって地域の新しい未来を拓いていく人財が求められています。

それぞれの価値観をもとに、それぞれの知恵と豊かな創造力で、地域の資源や可能性をさらに磨き上げ、地域課題を解決しようとする行動が、時代に適応した変化と元気を四万十町にもたらします。

3. 戦略の位置づけ

本戦略は、本町のまちづくりの指針である「四万十町総合振興計画」、人口減少克服と地方創生の推進に関する「四万十町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体となった戦略プランとして位置づけ、理念や将来像と諸計画との整合性を図るとともに、重点戦略を補強・補完するものです。

4. 基本的な視点

本町が目指す将来展望の実現のためには、若い世代の安定した就労の場の確保や、将来にわたり住み続けたいと思うまちづくりを創造していく必要があります。

このため、住民をはじめ関係機関と連携した協働精神のもと、まちづくりの基盤である「人財」の育成を戦略的に推進するにあたり、次の5つの基本視点から取り組みを推進していきます。

視点1 地域に愛着と誇りを持つ

四万十町を愛する心、地域を誇りに思う心を育てるとともに、地域の魅力を発見し歴史や文化を次世代に継承していきます。

視点2 地域の活性化を目指す

元気な地域を作るため、「自分たちの地域は自分たちで」を基本に、人とのつながりやネットワークを大事にし、地域経済の発展やコミュニティづくりを推進するとともに、地域の魅力と伝統を守りながら産業を振興し、新しいことに挑戦していきます。

視点3 住みやすい環境をつくる

誰もが住みたい、暮らしたいと思うまちを目指し、自然環境や生活環境の整備だけでな

く、人と人のつながりを大事にし、誰もが安心して暮らせる空間や地域をつくります。

視点4 教育や文化水準を高める

子どもたちの健全な育成や感受性豊かな心、たくましい心を育てるため、幼児期からの心の教育を推進するとともに、小・中・高の基礎学力の定着と学力向上や魅力ある地域文化の伝承と発展に取り組みます。

視点5 未来志向、世界に目を向ける

四万十町の未来を見据え、それぞれの夢を実現するため、多様なバランス感覚やグローバルな観点で世界に目を向け、変化する時代を生き抜く力を身につけ、地域の特性や可能性を生かした元気なまちづくりを進めます。

5. 推進体制

本戦略に位置づけた取り組みを着実に推進し実効性のあるものとしていくため、産官学民等の連携のもと総合的かつ横断的な施策の推進を図り、次の推進体制により不断の見直しを行っていきます。

(1) 施策の実施体制等

中長期的な視点に立ち、本町の特性を生かした強みを発揮するため、人づくり委員会において、目指すべき方向やその方策等を定めるとともに、その実施計画の策定に努めます。

本戦略に基づく施策を重点的かつ総合的に展開していくため、町は担当部署を中心とする人財育成の拠点づくりに努め、政策間の連携及び連動した取り組みを進め、国及び県の関係主体との連携により効率的かつ円滑な事業の推進を図ります。

また、人づくり委員会や町の担当部署等、人財育成の推進に関わる者の情報共有と見識を深めるため、必要な研修機会を設け、効果的な施策の推進に努めます。

(2) PDCAサイクル

本戦略に基づく実施計画の効果の検証など進捗管理については、定期的を開催する人づくり委員会や町の行政評価システムにおいて、評価の結果を施策の改善や新たな計画に反映させるなど、持続性のある取り組みとして柔軟に見直しを進めていきます。

III 基本目標と施策の方向

基本理念に基づき、教育・産業・雇用・行政・地域などの連携を深め、人財が人財を呼び込む好循環の確立を目指し、関係機関が連携した取り組みを進めるため、基本目標と施策の方向を次のとおり設定します。

基本目標 1

・わがまち四万十町の未来を元気にする人財の育成

●基本的な方向

子どもたちが四万十町の元気をつくる次代の人財として活躍していくため、地域を知り、地域に対する愛着と誇りをはぐくむ学習活動の場として「こども未来塾」(仮称)を創設し、四万十町の明るい未来に向け、教育体制の充実を図ります。

1-1 地域の魅力や特徴を知り、愛着と誇りをはぐくむ学習活動を進めます。

地域の良さを再発見し、四万十町を愛する心、誇りに思う心を育てるとともに、地域の伝統を次世代に継承していく取り組みを進めます。

子どもたちが大きな夢を持ち、興味のあることや新しいことにチャレンジする場を提供し、未来に羽ばたく人財の育成を図ります。

1-2 発達段階に応じたキャリア教育の充実を図ります。

子どもたちの基礎学力の定着と、それぞれの段階に応じた学力向上や個々の能力向上に向けた支援体制の強化を図ります。

町内高校の活性化をはじめ、保・幼・小・中・高の連携を強化し、高校卒業まで地域全体でしっかりサポートできる体制づくりを目指します。

1-3 家庭・学校・地域が連携し、地域の特色ある教育を推進します。

子どもたちが自ら考え、主体的に判断し、表現し、行動ができる資質を身につけるため、地域社会での活動を通じた特色ある教育を推進するとともに、親世代の学ぶ場や親子で心が育つ場を増やし、家庭・学校・地域が連携した取り組みを進めます。

基本目標 2

・わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成

●基本的な方向

地域の魅力を生かし、地域を支え発展させる人財を育てるために、「四万十塾」(仮称)を創設し、地域づくりに対する住民の意識の高揚を図るとともに、特色ある地域活動に対する視線を充実させ、四万十町の地域の活性化を図ります。

2-1 地域活性化の意識醸成の場の創出を行います。

地域の特性や可能性、魅力を再発見し、ニーズや課題を踏まえた地域づくりに向け、当事者意識の醸成の場を創出し、地域力の向上を目指した住民自らの取り組みを推進します。

2-2 地域リーダーの育成と住民協働体制の強化を図ります。

地域の特性や可能性を知り、地域づくりに積極的に参画・関与するリーダー的人財の育成と、それぞれの特色ある地域づくりを進めるため、コミュニティ体制の強化に努めます。

2-3 地域間及び人財ネットワークの形成を積極的に進めます。

人と人のつながりを大事にし、誰もが安心して暮らせる空間や地域を目指し、地域内だけでなく町内外との幅広い人的ネットワークをつくるための仕組みづくりを推進します。

基本目標3

・わがまち四万十町の産業を元気にする人財の育成

●基本的な方向

地域資源を生かし、産業を支え発展させる人財を育てるため、「産業振興塾」(仮称)を創設し、町内外の知見を結集して志に応じた支援を行い四万十町の産業の振興を図ります。

3-1 個々の志が向かうステージに合わせた支援を行います。

高い志を持ち、プロフェッショナルを目指す意欲ある人財を支援するため、目標の方向に合わせた3つのステージを設け、それぞれのステージでレベルアップを図るための機会を提供します。

《3つのステージ》

1. 会社の経営者 (プロデューサー)
2. 会社の管理者 (ディレクター)
3. 現場で働く者 (プレイヤー)

3-2 自発的な志向のもと目標を実現するために挑戦する人財を支援します。

地域産業を担い、支える自覚と高い志にあふれる人財を育成するため、目標の実現に向け自発的な高い志向の発現を促すとともに、挑戦意欲のある人財を募集し、希望する機会を提供します。

3-3 各分野からプロフェッショナルを招き、産業人の育成を推進します。

四万十町で高い志を実現したい人財を積極的に受け入れるとともに、各分野で実績のある専門家や造詣のある一流の方を招いて、ともに学びともに高め合う機会を提供します。